PARAMOUNT BED

2026 年 11 月 25 日

NEWS RELEASE

12 月 7 日に「Silent SHIFT 2026」開催

～「沈黙の損失」を可視化する　組織と個人の「当たり前」を問い直す～

パラマウントベッド株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役 社長執行役員：木村友彦、以下「当社」）と株式会社陽と人（本社：福島県伊達郡国見町、代表取締役：小林味愛、以下「陽と人」）で構成する Silent SHIFT 実行委員会は、「Silent SHIFT 2026」を 2026 年 12 月 7 日（月）に東京・野村コンファレンスプラザ日本橋で開催いたします。

「Silent SHIFT（サイレントシフト）」とは、働く人が抱える健康課題や働きづらさなど、表面化しにくい課題に着目し、その背景にある、組織や社会で無意識に共有されている価値観や慣習（“当たり前”）を、個人と組織の双方の視点から問い直すことで、より健やかで持続可能な働き方や組織のあり方を目指す取り組みです。

昨年度に続き第 2 回となる本カンファレンスでは、組織や社会の“当たり前”を問い直し、組織開発や文化人類学、DEI 推進など多様な領域の知見を持つ専門家や企業の実践者とともに、働く人と組織が健やかに変わるための新たな視点について、多様な立場の参加者と考えます。



■開催背景と目的

昨年開催した「Silent SHIFT Conference」では、更年期女性の健康課題に焦点を当て、2,000 人を対象に実施した「キャリアとヘルスケアに関する価値観調査」の結果を共有しながら、更年期などの健康課題によって、本来発揮できるはずの能力や経験が活かされず、働く人自身がキャリア形成や活躍の機会を失っている可能性があることについて議論しました。また、議論を通じて、更年期女性の健康課題にとどまらず、働く人が抱えるさまざまな不調や働きづらさも含め、こうした課題は個人だけの問題ではなく、組織のあり方とも関係しているのではないかという視点が共有されました。

今年のカンファレンスでは、働く人や組織における「沈黙の損失」を可視化することをテーマに掲げます。「沈黙の損失」とは、働く人が抱える不調や違和感、働きづらさなどの声なき課題が共有されないまま埋もれることで、個人の活躍や組織の成長機会が失われてしまう状態を指します。

当日は、ミドル・マネジメント世代に潜む「沈黙の損失」について考えるほか、エール株式会社代表取締役の櫻井将氏、同志社大学教授の松村圭一郎氏、株式会社フジワラテクノーアート代表取締役副社長の藤原加奈氏、パナソニック コネクト株式会社の山口有希子氏、加藤大地氏らを迎え、組織や個人の中にある“当たり前”を問い直します。さらに、組織で新たな価値創出に挑戦する実践事例や、組織変革のリアルなプロセスを共有するとともに、参加者自身が明日から取り組む行動を考えるワークショップを通じて、働く人が抱える不調や違和感、働きづらさなどの声なき課題を見過ごさず、組織の成長につなげるための視点と実践について考えます。

■このような方におすすめ

・働き方や職場に違和感を抱いている方
・更年期をはじめとする健康課題とキャリアの関係について考えてみたい方
・自分や組織のあり方を考えてみたい方
・人事・DEI・健康経営の担当者や、マネージャー、事業責任者など、組織に働きかける立場の方

■開催概要

イベント名：「Silent SHIFT 2026」
テーマ：「沈黙の損失」を可視化する　―組織と個人の「当たり前」を問い直す―
開催日時：2026 年 12 月 7 日（月）13:30～17:20
会場：野村コンファレンスプラザ日本橋
定員：120 名（事前登録制）
参加費：無料
主催：Silent SHIFT 実行委員会
協力：パラマウントベッド株式会社、株式会社陽と人
カンファレンスの詳細・お申し込み：「Silent SHIFT 2026」特設サイト
申込締切：2026 年 12 月 4 日（金）17:00

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

※ 掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。また、本ニュースリリースは当社の取り組みを報道関係者をはじめとするステークホルダーの方々へお伝えすることを目的としたものであり、一般の方への医療情報の提供や顧客誘引を目的としたものではありません。

報道関係者 お問い合わせ先
パラマウントベッド株式会社　広報部
Mail：pb-pr@paramount.co.jp